令和7年1月

**令和7年度　実験動物2級技術者通信教育実施案内**

（通信教育の一環として行うスクーリングが好評です）

公益社団法人日本実験動物協会

通信教育は、実験動物2級技術者認定試験（以下「2級試験」といいます）の学習に活用されているとともに、新入社員教育としてもご好評をいただいています。

また、本通信教育の一環として開催するスクーリングは通信教育受講者の大半が参加され、とても活気のある研修会となっています。特に2級試験受験者には、修了試験に合格すると実技試験が免除になるという特典があります。毎年修了試験ではほぼ全員が合格しています（詳しくは備考②をご覧ください）。なお、すでにご案内のとおり、令和７年度からマウスの受験が必須科目となり、実技試験もマウスの生体を用いる試験となります（詳しくは当協会のホームページを参照してください）。これに伴い、スクーリングの修了試験もマウスの生体を用いた試験になります。

つきましては、令和7年度も実験動物2級技術者通信教育を下記の要領で実施しますので、関係各位へご案内くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 通信教育実施期間　令和7年2月中旬開始、添削課題を全5回配付し7月で終了。

2．通信教育教材

　①(公社)日本実験動物協会編「実験動物の技術と応用 入門編 増補改訂版｣（第三刷）

〔発行:㈱アドスリー〕

　②ＤＶＤ 2巻「実験動物の飼育管理」および「やさしい動物実験手技」

　③通信教育Ｑ＆Ａ集（受講者からの質問・回答を多数追加しています）

　④添削問題は第1～5回を2月中旬から毎月配付。

⑤発送日：「実験動物の技術と応用 入門編 増補改訂版」（第三刷）は受講料の納入を確認後、発行元の㈱アドスリーより発送、添削課題・DVD・Q&A集等は協会より2月中旬に送付いたします。

3．申し込み期限　令和7年2月28日（金）

4．申し込み方法

受講希望の方は申込書に一人一枚、所定の事項を記載し、受講料振込票のコピーを添付して郵便又はFAXでお申し込みください（実務経験の有無に関わらず受講できます）。

5．通信教育受講料　　　30,800円（消費税込み。教材・添削料を含む）

受講料は、郵便振替口座：00180-5-35672番 　(公社)日本実験動物協会宛にお振り込みください。

※入門編 増補改訂版（第三刷）またはDVDが不要の方は受講料が変わりますので、お振り込み前に当協会へご相談ください（申込書の注2を参照ください）。

備考：①本年度の2級技術者資格認定試験は、学科は8月上旬、実技は11月下旬の予定です。

（受験資格：高卒相当以上の学歴、実験動物に関する実務経験が1年以上あること）

②スクーリングについては6月にご案内します（別途料金が必要となります）。8月下旬の土日に開催予定です（東京・京都）。希望者は全員受講できますが、修了試験は当該年度2級技術者試験受験者です。本修了試験合格者は2級試験において実技試験が免除されます。

通信教育申込書送付先：

〒101-0051東京都千代田区神田神保町3-2-5　九段ロイヤルビル502号室

公益社団法人日本実験動物協会

TEL 03-5215-2231（平日10:00～16:00）　FAX 03-5215-2232

　この申込書はホームページにも掲載しています。https://www.nichidokyo.or.jp

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **令和7年度　実験動物２級技術者通信教育申込書** | | | | | | |
| ﾌﾘ ｶﾞﾅ  氏 　　名 | | , | | | 性　別 | 男 女 |
| 生年月日 | | 昭和・平成 年 　　月　 　　日生 | | | 年　齢 |  |
| 勤  務  先 | 名 称 |  | | | | |
| 所在地 | 〒 | | | | |
| 電　話 | 内線 番　 FAX | | | | |
| E-mail |  | | | | |
| 実験動物に関する実務経験年数 | | 年　　　　　ヵ月（令和7年11月時点） | | | | |
| 本年度2級試験受験の予定 | | ある　　・　　ない　　（どちらかに○をしてください） | | | | |
| 選択動物種 | |  | | | | |
| 書類送付先  住所 | | 〒  ℡ | | | | |
| 受付月日 | | ※　　　　　月　　　日 | 受付番号 | ※ | | |

※欄は記入しないでください。

選択動物種：2級試験を受験予定の方は、下記動物種のいずれを選択されるかご記入ください。

ラット・その他のげっ歯類、モルモット、ウサギ、イヌ、ネコ、ブタ、サル類、

トリ類、魚類・両生類・その他

なお、マウスは必須科目ですので、記入されなくて結構です。

注1）振込の際には、通信欄に受講者の名前及び通信教育の受講料であることを明記し

てください。なお、複数の受講者の受講料を同時に振り込まれても結構ですが、

その場合も全員の個人名を記載願います。

注2）入門編 増補改訂版（第三刷）またはDVD不要の方は受講料振り込み前に当協会へご相談ください。入門編不要：25,300円、ＤＶＤ不要：26,400円（いずれも消費税込み）

　　　受領書コピー添付

（のり貼り）

※受領印のあるもの

ATMの利用明細票も可

**備考：当協会は本申し込みにより得た個人情報は通信教育および実験動物技術者試験に関連した目的以外の使用はいたしません。別紙**

**通信教育及びスクーリングの受講者からこれまで寄せられた**

**主なご意見、感想など**

1.　通信教育全般について

①実験動物及び動物実験について、広く深く勉強することができたので、今後の業務に役立てたい。

②テキストに沿った課題だったので、認定試験受験のためにもよい勉強となった。

③添削問題の出題箇所をテキストにアンダーラインを引いてみたところ、とても細かい部分まで出題されていたことにある意味感動した。

④Ｑ＆Ａ集がたいへん参考になった。

⑤環境が整っていない者にとって通信教育はとても助かる。普段の業務ではあまり動物に接する機会がないので通信教育を通じて自信がついた。

⑥テキストを読むだけでなく添削問題を解くことで理解し切れていない部分が明確になり理解が深まった。

2.　通信教育の添削問題について

①動物種ごとに各論問題があり、普段学ばない動物種も勉強できた。

②細かな点まで解説されている教材の中から、重要なポイントを精査して出題されており学習しやすかった。

③誤解答に対して、正しい答えや説明を記入してもらうことでより理解が深まった。

④前回分の解答版（解説）を送っていただいたので、疑問点がよく理解できた。

3.　スクーリング全般について

①勤務先では教われない手技やわからない部分を講師が熱心に指導してくれたことに感謝したい。

②講師は参加者に合わせた指導をしてくれたので、安心して受講できた。楽しく学べたことは業務の上で前進できる第一歩だと思う。

③日常の業務の中では手順書に沿って決められた業務を行うのみなので、それ以外の仕事や他社ではどのように取り扱っているかなどを知ることのできる意義のある機会だった。

④「百聞は一見にしかず」と感じた有意義な時間だった。これまで見よう見まねで“なんとなく”行っていた作業について、その根拠や理屈が理解できた。

⑤普段接することのない動物種（アルビノ以外、新生子など）や器具を実際に目にすることができ貴重な体験となった。

⑥日常業務では行ったことのない実技を指導いただき感謝する。今後の業務に生かしたい。

⑦動物を扱う際の順化の大切さを教えていただき参考になった。

4.　スクーリング修了試験について

①学科試験で勉強したことについて実習を通して確認することができてよかった。

②直前まで動物を取り扱えること、試験官や他の受験者とコミュニケーションをとることができるので修了試験はよい制度だと思う。

以上